



# 図書室だより

2025.2

秩父市立荒川中学校図書室

二月、一年で一番寒い時。

でも、そっと木の芽や花のつぼみは、少しずつふくらみはじめています。

春告げ鳥のうぐいすも、もうすぐそばまで来ているのでしょう。

皆さんの努力が実を結び、素敵な春がやってきますよう願っています。

さて、図書室も今年度の最終貸出が近づいてきました。

以下のように行いますので、ご協力よろしくお願ひします。



## <今年度 最終貸出のお知らせ>

**3年生…最終貸出 2/28(金)**  
**返却 3 / 4(火)までにお願ひします。**

**1年生…最終貸出 3 / 7(金)**  
**2年生…最終貸出 3 / 6(木)**  
**返却週間 3/17(月)~3/21(金)**

\*図書室前返却 BOX もご利用ください。  
春休み用の本の貸出は行いません。

## <2025年 本屋大賞/ミネート作品 発表!>

今月、本屋大賞ノミネート作品が発表になりました。

本屋大賞とは、『全国書店員が選んだ いちばん! 売りたい本』をコンセプトに書店員が選ぶ文学賞です。

全国の書店員が比較的新しい本の中から投票し、まず数十点に絞られた後、最終選考で十点まで絞り込まれます。

この十点が「本屋大賞ノミネート作品」となります。

今後さらにこの中から投票が行われ、来春4月に本屋大賞が決定します。

<過去6年の大賞受賞作>

2024年『成瀬は天下を取りにいく』宮島未奈、2021年『52 ヘルツのクジラたち』町田そのこ

2023年『汝、星のごとく』凧良ゆう、2020年『流浪の月』凧良ゆう、

2022年『同志少女よ、敵を射て』逢坂冬馬、2019年『そして、バトンが渡された』瀬尾まいこ

\*図書室に歴代本屋大賞受賞作を展示しますので、見に来てね。



## <2025 本屋大賞/ミネート作品ご紹介>

\*各出版社本紹介より抜粋

全国の本好きな書店員さんが「これはおもしろい!」「みんなにも読んでほしい!」「自分の店で売りたい!」とオススメする選ばれし10作品。

荒川中図書室にも準備しますので、ぜひ読んでみてください。  
そしてどの本が大賞に選ばれるか予想してみましょ!



関東一円からスカウトが来ていたが、声のかからなかった甲子園常連校を倒すことを夢見て、とある大阪の新興校へ進学を選んだ息子・母。果たしてふたりの夢は叶うのか!?

『アルプス席の母』早見和馬・著



家が片づくこと、おいしい料理があること、その整いと温かさがどれほど人にとって大切なのだろう。何かワクワクする気持ちは明日への希望になるものです。

『カフネ』阿部暁子・著



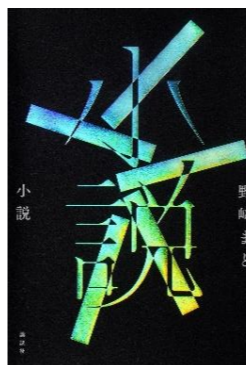
自らのルーツを辿った先にある、思いもよらぬ真相とは一。過去と現在が交錯する、医療×本格ミステリ!

『禁忌の子』山口未桜・著



プロポーズの翌日、恋人が盗撮で捕まった。出来心で犯した罪は周囲の人々を巻き込み、思わぬ波紋を巻き起こしていく。信じるとは、許すとは、愛するとは。

『恋とか愛とかやさしさなら』一穂ミチ・著



小説家が住んでいるというモジャ屋敷に潜み混んだ二人。その屋敷のある秘密とは? ミステリー? SF? ファンタジー? 「小説を読むとは?」

『小説』野崎まど・著



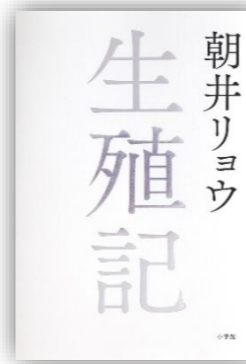
ある日教室のスピーカーから飲酒運転の車にひかれて死んだはずの山田の声が! 声だけになった山田と、二年E組の仲間たちの不思議な日々がはじまった一。

『死んだ山田と教室』金子玲介・著



一人の天才をめぐるパレエ小説! 少年は8歳でパレエに出会い、15歳で海を渡った。踊る者・作者・見る者・奏でる者、それぞれの情熱のぶつかりあいと交錯...

『spring』恩田陸・著



とある家電メーカー総務部勤務の尚成は、同僚と二個体で新宿の量販店に来ています。体組成計を買うため—ではなく、寿命を効率よく消費するために。

『生殖記』朝井リョウ・著



2024 本屋大賞「成瀬は天下を取りにいく」の続編。思い立ったらすぐ行動の成瀬は、ますますパワーアップ! 目標・目的に突き進む!!

『成瀬は信じた道を行く』宮島未奈・著



SNS上で「王子」と名乗る謎の青年の「人魚が逃げた」という言葉がトレンド入り。彼の不可解な言動に、人々はだんだん興味を持ち始め—。人魚は見つかるのか?

『人魚が逃げた』青山美智子・著



さあ、どれから読む?

